



— 桜の弘法山から北アルプスの峰々を望む — 提供：松本市観光プロモーション課



第123号
 令和5年3月10日
 発行 松本地区保護司会



裁判員制度の現在とこれから

長野地方検察庁松本支部・諏訪支部

支部長 検事 竹生田 哲 郎

令和4年4月に長野地方検察庁松本支部・諏訪支部に着任した「たけおだ てつろう」と申します。

平成21年5月に裁判員制度がスタートし、今年で14年目を迎えます。裁判員制度は、検察官が起訴した殺人事件や強盗致傷事件等の裁判員裁判対象事件について、抽選で選ばれた6名の一般市民が裁判員としてその刑事裁判に参加し、被告人が有罪かどうか、有罪の場合にどのような刑罰を科すか(量刑)を、3名の裁判官と一緒に決めてもらうという制度です。

より迅速な裁判を実現するための方策、遺体や傷口の写真等の裁判員に心理的負担となる証拠の取調べの在り方など、我々法曹が取り組んでいかななくてはならない課題は少なくありません。

その一方で、これまで裁判員裁判に参加された多くの市民が、裁判に参加してよい経験になったという好意的な感想をお持ちです。私も、判決期日に、裁判長が読み上げる判決の内容を聞くとともに、各裁判員が被告人をじつと見つめる表情を見て、各裁判員が事件と真剣に向き合っている様子、熟慮を重ねてくれたことを実感してきました。

私の経験上、多くの事件の量刑で、裁判員が関心を持つポイントの一つは、被告人の「更生可能性」です。目の前の被告人が、今後、反省して更生してくれるだろうかという点が刑罰を決めるに当たり重要視されています。

昨年、懲役と禁錮を廃止して「拘禁刑」を創設し、「刑の執行猶予制度」の拡充等を図る改正刑法が成立しました。施設内及び社会内処遇の充実化を目的とする改正であり、今後施行されれば、裁判員裁判でも、新たな「拘禁刑」が科され、拡充された「刑の執行猶予制度」の適用が議論されることになるでしょう。

また、昨年、18歳及び19歳の特定少年につき、原則逆送対象事件を拡大する改正少年法が施行されました。今後、特定少年が被告人となる裁判員裁判が増加する可能性があり、そこでも当該少年の「更生可能性」が議論されることでしょう。

今後、保護司の皆様による保護や更生のための活動により大きな期待が寄せられるとともに、皆様の貴重な経験・ノウハウがより広く社会に共有されるべき時代が到来すると考えます。皆様の益々の御活躍を祈念いたします。

令和四年度 新年総会・ 新年祝賀会

松本地区保護司会の令和四年度新年総会及び新年祝賀会が、令和五年一月十八日(水)ホテルブエナビスタに於いて午後四時より開催された。



負けないで 君を待っている 未来のために

新年総会では、来賓として出席頂いた長野保護観察所の小沼真由美主任官、及び当会出身の山元秀泰長野県保護司会連合会会長に挨拶を頂いた後、深澤彰良西分区分長が議長に選出され議事に入り、第一号議案「令和五年度役員候補者選考委員承認の件」が賛成多数で承認され、総会は閉会となった。

続いての新年祝賀会は、総会に出席頂いたお二方に加え、臥雲義尚市長はじめ市議会を代表して上條美智子副議長、社協の丸山貴史常務理事、長野保護観察所の村木康弘所長、松本保護会の白馬義文理事長、他七名の皆様に来賓としてご臨席を賜り盛大に開催された。

第67回 長野県 更生保護大会

令和四年十月二十一日(金)、第六十七回長野県更生保護大会が安曇野市豊科公民館ホールに於いて開催された。コロナ禍の為、昨年同様、規模を縮小しての開催となり、松本からの九名を含めて約一〇〇名の参加で行われた。

開会前の緊張感をバイオリンとピアノ演奏が和めてくれた。表彰式典では法務大臣表彰と全国保護司連盟理事長表彰および長野県知事表彰等が壇上で行われ、法務大臣表彰では古田道康会長と牧羽勲さんが受賞された。また、全国保護司連盟理事長表彰で二名、長野県知事表彰で四名の方が受賞した。

次期開催地は上伊那地区との発表があり、二時間ほどで終了した。その後、山元秀泰会長とともに記念撮影をして解散した。



事業部長 南山 國彦

受賞者の皆さん おめでとうございます

(敬称略・順不同)

(松本地区関係者は次の通りです。)

法務大臣表彰

古田 道康 牧羽 勲

全国保護司連盟理事長表彰

宮下 正夫 柳澤 有基子

日本BBS連盟会長表彰

田口 将一

関東地方更生保護委員会委員長表彰

荒川 道永 海野 暁光

小穴 昌夫 小林 孝

上條 史子 高木 啓

花岡 豪 吉水 廣子

和田 哲雄

(法人役職員)

松本保護会

大澤 邦彦 村山 純

関東地方更生保護委員会委員長感謝状

赤木 きく枝

(更生保護女性会員)

児玉 行 中川 裕子

原 達郎 百瀬 素浩

池上 昌孝 永野 正孝

丸山 哲弘 百瀬 眞市

長野保護観察所長表彰

高宮 一男 滝澤 修

長野保護観察所長感謝状

(BBS会員)

小木曾 広隆 泉山 莉奈

西澤 彩夏 矢次 瞬輔

(更生保護協力雇用主)

大蔵木工株式会社

青木 崇 上条 琴子

佐藤 いづみ 堀内 勝幸

丸山 徳子 山田 真弘

山本 美千代



保護司の異動

(敬称略・順不同)

(退任) 令和四年十一月九日付け

座間 正幸 (西分区分)

辻 憲一 (東分区分)

寺島 正平 (南分区分)

長い間大変お疲れさまでした。

(新任) 令和四年十一月十日付け

二村 喜子 (西分区分)

宮澤 淳毅 (北分区分)

末永く宜しく願います。

大切な自分をもっと信じよう

第72回 社会を明るくする運動 長野県作文コンテスト

県下の児童・生徒の皆様から小学生五七五一点、中学生四九〇三点の応募がありました。松本地区からは小学生七一五一点、中学生は六三三点の応募があり、この内、小学生三篇が、また中学生一篇が県の優秀賞に選ばれました。今月号ではこれらの四作品を掲載させて頂きます。

● 小学校の部

優秀賞

「つながってさく 小さなやさしさ」

松本市立寿小学校六年

高山 優太

小さなころ、お父さんと長野市にある動物園に電車で行ったことがあった。駅からもけっこう歩いたので、帰りの電車を待っている時は、つかれてた。電車が来たが、すぐに満席になってしまい、ぼくたちは、立って電車に乗らなくてはいけなくなった。足がいたくて、その場にすわってしまった。そしたら、高校生ぐらいの二人の男の人が

「ぼくたち、すぐおるから、ここすわってください。」と、席をゆずってくれた。とてもらしくなったし、とてもうれしい気持ちになった。

五年生になり、電車でお父さんと映画を見に行った。平田から南松本まで一駅だった。映画を見て、ごはんを食べて帰りの電車に乗った。少しこんでいたが、一ポツクス空いていたので、そこにすわった。席は満席になった。少しして、赤ちゃんをだっこした四人家族が入ってきた。おかあさんが、子供をだっこしながら、

「満員だね、がんばって立って乗っていいよか。」

と、もう一人の子供に言った。子供は、

「足がいたい。」

と言った。ぼくと、お父さんは、顔を見合わせ、

「席をゆずろうか。」

と言って、その家族に「ぼくたちはすぐおるから、ここすわってください。」と言った。その家族は、「ありがとうございます。たすかります。」

「ありがとうございます。たすかります。」

と聞いた。ぼくたちは、とてもいい気分になった。その時に前に、席をゆずってくれた高校生のことを思い出した。あのやさしさがあったから、ぼくたちも、この家族にやさしくできたかもしれない、と思った。この家族がすわったのは、あの高校生のおかげでもあるかもしれない。高校生の小さなやさしさが、四年かけて、ぼくたちをつうじて、この家族に伝わった。やさしさはつながっていくのかもしれない。ぼくらが、こまっている人を助けたり、公園のゴミをひろったり、ボランティアをすることが、だれかをつうじて、たくさんの人に広がっていく。ぼくたちは、みんながやさしい気持ちになるし、社会もきっと明るくなる。ぼくが去年足を手術して、松葉杖をしていた時、みんなが階段で松葉杖をもってくれたり、手紙をかわしてくれたり、給食を持ってきてくれたり、ぼくをたすけてくれた。そのたくさんの方のやさしさを、ぼくもたくさんの方に伝えていきたい。

優秀賞

「トゲトゲ言葉と まんまる言葉」

信州大学教育学部附属

松本小学校四年

荒井 瑛太

ぼくは二つの言葉を知っています。トゲトゲ言葉とまんまる言葉です。これは副校長先生に教えてもらった言葉です。トゲトゲ言葉は人を不幸せな気持ちにさせる言葉で、まんまる言葉は人を幸せな気持ちにする言葉です。ぼくがこの言葉について思う事は、トゲトゲ言葉はこの社会からなくなってほしいし、まんまる言葉はぎゅぐゅにふえてほしいです。

強い意志と勇気のない負に誘惑

ぼくは三年生の二学期にトゲトゲ言葉を使ってしまいました。理由は友達がぼくにトゲトゲ言葉を使ったからです。ぼくはイライラしたので同じようなトゲトゲ言葉を言い返してしまいました。そしてものすごい言い合いになって二人とも泣いてしまいました。ぼくはその後、なんてことをしてしまっただろうと思いましたが、なぜなら一週間前にぼくはトゲトゲ言葉を言っている別な友達に注意しました。言われている子がぎずつくと思っただけです。それなのに、ぼくも相手の事を考えずに言ってしまったからです。ぼくはその日気持ちモヤモヤしていました。そしてその友達とは一週間ぐらい口をきかなかったのです。その間ときどきおなかがいいたくなくなりました。

ぼくはトゲトゲ言葉を言っても、言われてもいやな気持ちにならないう事が分かりました。

多くのクラスでは自主学習をパソコンからクラスルームに投じようとして、みんなが見れるようにしています。そして友達の作った自主学習にコメントができます。ぼくのたんにんの先生が一期の初めに「友達の自主学習に、自分が言われてうれしいコメントをしよ

う。」と言いました。そしてみんなまるまる言葉を使ってコメントをしています。例えば、「今までは知らなかったけどくわしく知れたよ!」「すごいと思います!」「動画とかものせていてすごいわかりやすかったです!!」などです。このようなコメントを見て理科の先生が

「読んでて気持ちいいね。」と言ってくれました。ぼくのママも「自主学習を書いている人がやる気になるコメントがとても多いね。」とおどろいていました。ママは「相手のことを考えてコメントできるから、みんなやさしいね。」とほめていました。

ぼくはまんまる言葉も、言われても幸せな気持ちにならないう事が分かりました。これは学校中に自まんでできるほどすごいことだなと思います。そしてこれはクラスを明るくする事だと思います。

ぼくはこのトゲトゲ言葉が世界中からなくなればいいのになと思います。なぜならぼくは前に大学生が親に言われたことがショックで自さつしたというニュースを見

ても、事故にあっても家族は悲しむだろう。自転車に乗るたび「気を付けて行くんだよ。」と送り出してくれる母の言葉を裏切らないためにも、僕は注意を払って自転車に乗ると決めています。「社会を明るくするために」と考えると僕ができることはほとんどないように思っただし、僕自身の力で事故を減らせるとも思えなかつた。でも、祖母が教えてくれた「誰か」を思う気持ちを持つて生活することが、社会を明るくすることにつながると思いたい。僕は、僕ができることをする。

●中学生の部
優秀賞
地域のつながりで犯罪防止へ

松本市山形村朝日村中学校
組合立 鉢盛中学校三年
清水口 珠喜

みなさんの家族は常会というものに加入していますか。常会に加入しているのと、していないのでは地域の人と関わる機会が大きく違っていきます。そして私は、

優秀賞
事故を無くして明るい社会に

松本市立 鎌田小学校六年
武藤 柊

「社会を明るくする運動について考えてみない?」

と先生から聞かれたとき、日々目にするニュースは、悲しいものが多いなと感じた。テレビでも、新聞でも、事件や事故のニュースがゼロという日は一日もない。その中でも、特に僕の心が痛くなるのは、「高齢者がアクセルとブレーキを間違えて運転してしまい事故が起きた。」という内容だ。そのような事故の中には、ただ近くを歩いていただけの人が巻き込まれて亡くなってしまったというものもあった。自分の家族や友達が巻き込まれたらと考えると、僕は怖くてたまらない。そして、心が痛む。

家族と
「最近、また高齢者が起こしてしまう事故が多いね。」と話していたとき、
「そういえば、おばあちゃん免許を返納したらいいよ。」
と東京に住む祖母が免許を返納し

た。そして参加している大人の人も、お酒を飲んだりワイワイしながら談笑したりしていました。そんな姿を見ていて私は心が温まりました。

ほかにも各地区で行われている三九郎という地域の人と協力して行う行事がありました。その行事では各家庭へものがらや、正月飾りなどを集めて行って、わらやものがらでやぐらを組み立てます。そして夕方からやぐらに火をつけ、みんなでマシユマロやまゆ玉を焼いて食べました。みんなが焼くために持ってきた食べ物を交換して、一緒に味わって食べるのが私にとって三九郎での醍醐味になっていました。私は三九郎で部屋の後に遊んだり、ご飯を食べたりするのをとても楽しみにしていました。が、一番楽しみにしていたことはやはり、やぐらに火をつけた後の時間です。やぐらを組み立てることはとても大変で、苦労することもありました。がみんな協力して組み立てたからこそ、この大切な時間をもっと楽しくなれたのだと思います。この三九郎では大人も子供も力を合わせて一つのことに取り組んでいるので、団結力が生まれやすい行事だと思います。このように、常会に参加して

信じてる君を待ってる 立ち直る

たことを聞いた。僕は、なぜそう決めたのだろうと疑問に思った。祖母は、よく車を運転していたし、まだ身体も丈夫だ。それに、免許を返納してしまったら、買い物など生活が不便になってしまうのではないかと心配にもなった。祖母に免許を返納した理由を聞くと

「最近のニュースを見ていて怖くなってね。事故を起こして、誰かに迷惑をかけたら大変なことになってしまふから。そうなるからでは遅いからね。」

と言っていた。買い物には、バスやタクシーを使えばいいとも言っていた。返納することは祖母自身が決めたらしい。祖母の言う「誰か」というのは、事故の相手のことでもあるし、僕たち家族のことも考えているのだということから聞いた。

毎日のニュースは決して明るくない。事件や事故は毎日起きる。でも祖母のように「誰か」を思う気持ちやみんなが持つていけば、周りの人を巻き込むような事故は減るのではないか。僕は、自動車の運転はしないが、自転車に乗る機会が多い。祖母のように「乗らない」という選択はできないが、事故を起こさないように気を付けることはできる。僕が事故を起こし

長野県保護観察協会の事業にご賛同のうえ、賛助会費のご協力を頂き、誠にありがとうございます。
ご芳名を掲載し、改めて感謝申し上げます。
(敬称略・順不同)

「保護司会関係」

(東分区) 荒川道永、小六昌夫、小笠原力男、上條史子、草間由紀子、小岩井里美、近藤 正、辻 憲一、鳥居とし子、花岡多美子、花岡 豪、藤原富起人、古田道康、堀内勝幸、前沢吉衛、丸山哲弘、南山國彦、宮下正夫、村田由香、村山純、百瀬眞市、百瀬康弘、百瀬代美、山田真弘

(西分区) 小澤秀眞、鎌倉宏至、笠原澄子、上條琴子、上條光司、河合徹、熊澤裕司、興 正清、小林資典、齊藤加根子、齋藤美代子、座間正幸、高宮一男、中野清美、永原ゆ美、西牧ちひろ、二村俊永、深澤彰良、古田峯雄、牧羽勲、宮坂吉則、百瀬久子、和田哲雄、山本美千代

(南分区) 有田京子、有賀正典、大野英明、小林 孝、櫻井伸彦、澤地明秀、橘 昭雄、田中滋徳、田中強道、手塚貴雄、寺島正平、鳥

羽弘純、中川裕子、中田秀子、中村賢、西口恵利子、原 達郎、増田由美子、百瀬素浩、百瀬雅仁、山本範行、山元秀泰、吉水廣子
(北分区) 相澤真由美、池上昌孝、海野暁光、大蔵章男、小口美和子、金子文彦、小林 優、児玉 行、佐々木澄子、佐藤いづみ、高木 啓、滝澤 修、滝澤悌二、中原國友、永野正孝、丸山徳子、柳川眞澄、柳澤有基子、吉江 厚

子、木下美代、百瀬政子、江平ヤス子、武井昌子、上村井八千子、曾根原美恵子、溝上弘美、梅井須美、丸山和子、橋侑未子、村山友子、上條悦子、三村慶子、滝澤澄子、原 愛子、村山悦子、清澤三和子、杉山洋子、櫻井ひろみ、小松多佳子、唐澤昌子、上條京子、三島幸子、宮林孝子、高野尾宏子、三沢良子、清水千晶、高野尾三穂、本郷ゆみ子、原照子、三澤いく子、保高保子、福嶋るみ、高橋けさの、三澤由子、布施寿子、萩原洋子、原良子、竹村みさを、田口輝子、上條みさほ、長岡裕美、新村元子、中田千恵子、三村惇子、備前智子、上條準子、洞澤さかえ、古畑とよ子、福澤正子、平林直子、高橋昌子、杉山志のぶ、草間益江、百瀬美紀、近藤節子、中島愛子、小笠原咲子、南山佳子、山田早苗、近藤信子、中原澄子、二木淳子、等々力温子、清水禮子、狩谷初恵、吉江妙子、須澤恭子、荻須光子、上杉千寿子、高山祖子、大槻重子、百瀬ちゆき、米山茂子、草間好子、村沢美和子、杉山寿子、荒井弘子、小林和子、杉山静子、草間弥生、波羅千代子、赤羽寿美子、平林かね美、堀内雅子、百瀬敬子、中島讀子、榎 房子、山崎やすえ、長内直美、山本智子、藤原富子、小池円、古田充子



北帰行

「更生保護女性会関係」

梓川地区、四賀地区、城西病院、松本信用金庫、八十二銀行松本営業部長野県信用組合松本支店、(株)長野銀行、(株)五幸、谷川ゆみ子、佐々木とも子、倉科恭子、小笠原ともみ、川上紀子、鳥羽賀世子、倉科京子、越場路子、旭みか里、大野信子、茅野美代子、辻トメ子、小岩井洋子、有賀志づ江、武田静子、赤木きく枝、久保田常子、丸山千草、小岩井万里

松本地区保護司の担当する対象者数

令和5年2月1日現在

1号観察	6件	生活環境調整	
2号観察	3件	少年院在院	2件
3号観察	3件		
4号観察	16件	刑務所在監	25件
計	28件		

1号観察とは、家庭裁判所の決定により、保護観察に付された少年。
2号観察とは、少年院から仮退院を許された少年。
3号観察とは、刑務所から仮釈放を許されている人。
4号観察とは、刑の執行猶予され、保護観察に付された人。

あしがき

▼竹生田検事様より貴重な巻頭言を頂きました。14年目を迎える裁判員制度。▼「今後益々保護司の活動への期待が高まり、その経験やノウハウが、広く社会に共有されるべき時代が到来する。」とのエールを頂き大変勇気づけられました。▼今後、反省し更生してくれるかどうか、という更生の可能性が刑罰決定上重要視されている審判の場。▼私達保護司は、対象者の「更生可能性」を高めるべく、堅い信念を持って取り組み所存です。▼今号の発行に当たり、多くの皆様の多大なご協力を頂き心より感謝申し上げます。